

項目	確認事項	届出内容	
基本情報	大学等名1(代表大学等)	広島大学	
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヒロシマダイガク	
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F134110109780	
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	広島県	
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学	
	大学等名2(連携大学等)	未来を拓く地方協奏プラットフォーム(HIRAKU) 連携大学等 (参考URL: https://hiraku.hiroshima-u.ac.jp/younger_internship/)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地		
	大学等名2(連携大学等)学校種別		
	科目名	長期インターンシップ	
	学部・研究科等名	グローバルキャリアデザインセンター	
	担当教職員名・役職	三須 敏幸・教授	
	受講者数実績年度	令和2年度	
	受講者数※インターンシップ参加者数	3	
	受入企業等数	3	
	受入企業等名	平山郁夫美術館 ユニタール広島事務所 産業技術総合研究所	
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 2.有給インターンシップ 3.海外インターンシップ 4.国際機関でのインターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ	
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
	要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
		1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
		1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
1-3.上記回答内容に関する詳細		教員及びコーディネーターが学生本人の目的意識、強み、希望する業務内容などを考慮し、派遣先候補と受け入れニーズや態勢なども確認しながら事前協議を行い、効果が得られる実施内容を調整している。個別にマッチングを図った上で、学生に合った実施形態(プロジェクト型、課題遂行型、業務体験型など)を選択している。	
要	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい	
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している	
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容		
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学院 博士1年	

要素②	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学院 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	博士課程後期においてはアカデミア志向が強くなり、専門領域外との接点も少なくなる傾向にあることから、単なる就業体験ではなく、研究人材に必要なトランスファラブルスキルの修得やキャリアオプションの拡大を図ることを目的として実施している。事前の個別面談、書類・面接審査、マッチング、能力の自己評価、派遣前プレゼン、実施状況確認、派遣後プレゼン・成果報告などを通じて、学生の成長を促している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	インターンシップ希望者に対して、教員及びコーディネーターが学生本人の進路志向、研究内容、課題意識等を事前に確認し、派遣先候補や実施内容について、より具体的な検討や準備を促している。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
		4.その他
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	インターンシップ希望者に対して、教員及び、コーディネーターが学生本人の進路志向、研究内容、課題意識等を事前に確認し、派遣先候補や実施内容について、より具体的な検討や準備を促している。
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している		
3.その他		
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	派遣中は、ITシステムを通じて、学生本人が実施状況報告書を毎週提出し、必要に応じて教員やコーディネーターが助言等を実施。また、個別事情に応じて、受入機関の担当者や学生本人と面談を実施する場合もある。	

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	教員やコーディネーターとの事前面談を通じて、インターンシップの目的や期待する効果などについてセルフチェックを促している。その上で、書類審査、面接審査を実施し、学生本人の認識度を確認している。また、英国VitaeのResearcher DevelopmentFramework(研究者能力開発指標)に基づく自己評価を通じて、派遣中に意識して取り組むポイントなどのセルフチェックを促している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	学生は、インターンシップの成果、達成度、気づきなどについて振り返り、終了報告書として提出している。また、派遣後プレゼンや成果報告会での発表や質疑応答、派遣前後の能力の自己評価などを通じて、内省する機会を提供している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	学生は、インターンシップ期間中、実施内容や習得内容を毎週（及び毎月）振り返り、ITシステムを通じて、実施状況報告書として提出する。毎週提出される実施状況報告書を参考に、ITシステム上で教員やコーディネーターが必要に応じて助言等を行っている。また、遠方の派遣先もあるため、個別事情に応じて、受入機関の担当者や学生本人と面談を実施している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	学生は終了報告書を提出するとともに、派遣後プレゼン・成果報告会等を通じて定性的に効果を確認。また、受入機関は実施結果を定性・定量的に評価し、評価・要望書として提出している。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	学生は、インターンシップの成果、達成度、気づきなどについて終了報告書として提出している。また、派遣後プレゼン・成果報告会における発表や質疑応答、さらには派遣前後の能力の自己評価（自己評価レポート）などを通じて、定性的な評価を行っている。受入機関は、実施して良かった点や課題などの定性評価、総合評価及び6つの能力に関する定量評価を行い、評価・要望書として提出している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	同一期間に連続して(週3日以上)2か月以上(上限3か月程度)
	5-3.上記回答内容に関する詳細	本学の教員及びコーディネーターが、事前に派遣先機関と協議し、学生本人の都合、受入機関での業務内容等を鑑み、派遣期間を個別に調整している。
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている

要素⑥		7.その他
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	事前に受入機関と実施内容について個別に調整を行うとともに、評価・要望書や成果報告会などを通じて受入機関からのフィードバックを得ている。
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前に受入機関と実施内容について個別に調整を行うことは勿論、前述の通り、受入機関は実施して良かった点や課題などの定性評価、総合点及び6つの能力に関する定量評価、本学に対する要望などを記載して、評価・要望書として提出している。また、成果報告会では、学生のみならず、受入機関からも実施結果について報告することで、プログラム全体へのフィードバックを行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/syllabusHtml/2021_BB_8E550801.html
問い合わせ先	大学等名	広島大学
	担当部署名	グローバルキャリアデザインセンター
	担当者役職名	教授
	担当者氏名	三須 敏幸
	電話番号	082-424-4348
	メールアドレス	maxmisu@hiroshima-u.ac.jp